

## 昭和40年1月以降の月例会について

最近では月例会はあまりに分野が細分されすぎ、いつも集っている人達だけで月例会を開く場合が起るようになさなりました。その結果、広い見地に立って近接した多くの分野の人々が集って討論をするという本来の姿が薄れて来たという声が出て来ました。そこで、今般、理事会の了解のもとに暫定的に春季および秋季大会のほか、数グループ合同によるシンポジウムと年2回の一般講演会を催すことにいたしました。従来の第1部一般研究発表はこの一般講演会で行ないます。第2部の各グループ別の月例会のうち、やむを得ないものはこれまで通り行ないますが、各グループではできるだけシンポジウム、一般講演会を活用されるよう望みます。なお、さし

あたって1月～3月の間は次のようなスケジュールで行なうことにいたしました。

- 1月 シンポジウム「大気と海洋の相互作用」「気象電気」、グループ別月例会「太陽活動と放射」
- 2月 シンポジウム「乱流輸送」グループ別月例会「レーダー」「長期予報」
- 3月 一般講演会およびグループ別月例会「台風」「豪雨」「気候」「豪雪」「水気象(降雨と流出)」「航空気象」「観測と測器」「その他一般」

### 講演企画委員会

## 第11回 風のシンポジウム

(日本気象学会・日本海洋学会・日本建築学会・日本航空学会・地震学会・日本地理学会・日本農業気象学会・日本林学会・(幹事学会・土木学会 共催)  
会期 1964年12月15日(火) 9.30~17.00  
会場 気象庁講堂(東京都千代田区大手町1の7)  
一般講演(講演時間 各15分)

1. 岡本雅典(気象大): 山本・パノフスキー方程式への放射補正
2. 竹内清秀・伊藤昭三(気象庁): 移流による気象要素の変化と地表面粗度の影響
3. 日野幹雄(電力技研): 突風率と種々の因子との関係
4. 日野幹雄(電力技研): 風波のスペクトル・フェッチグラフ・摩擦係数
5. 岩田憲幸(防災センター)・竹田厚(東大)・大塚伸(気象研)・小堀泰宏(海上電機)・清水幹二(電子工業): 波の上での風の観測結果について
6. 光田寧(京大防災研): 超音波風速温度計について
7. 坂上治郎・望月昌子・安藤三千代・野崎種子(お茶の水女子大): 簡単なリニアライズされた熱線風速計
8. 井上栄一(農業技研): 散在樹木群の防風林効果

9. 清水逸郎・岩瀬昭吾・秋山泰三・星一男(気象庁): 気象庁の新風洞(昼休に見学を行ないます)
  10. 朝霞射場気流調査グループ: 朝霞射場の気流調整について
  11. 河村武(東管): 中部日本における冬の局地的風系について
  12. 水越允治(三重大): 都市気温の分布と風との関係についての一考察
  13. 吉野正敏(東京教育大): ヨーロッパの風車の地理
  14. 鈴木清太郎(気象大) 矢吹万寿(大阪府大): 山越気流の研究(第8報)一変態フェーン
  15. 許昌九(京大防災研): 振動する角柱のまわりの風の流れ
  16. 川村純夫(大阪市大): 二つの円筒の風による振動について
  17. 石崎澄雄(京大防災研): 高さ方向風速分布に関する一考察
- 特別講演(講演時間 各30分)
1. 坂上治郎(お茶の水女子大): 米国における二、三の大気乱流の研究について
  2. 小倉義光(東大海洋研): 最近の非線型対流理論
  3. 塩谷正雄(国鉄技研): 鉄道と風

## 1月月例会期変更のお知らせ

前号で予告した気象電気シンポジウムの会期は、都合により、1月26日(火) 9時30分~17時に変更になりました。

## 2月月例会講演申込

主題: レーダー気象 会場: 気象庁会議室  
会期: 2月中旬(気象庁レーダー気象打合せ会前後)  
申込先: 東京都杉並区馬橋4-499 気象研究所  
今井 一郎

主題: 長期予報 会場: 気象庁会議室  
会期: 2月下旬(気象庁長期予報検討会前後)  
申込先: 東京都千代田区大手町 気象庁長期予報管理  
官室 久保木光熙  
(なお2月月例会の講演申込締切は12月31日です。)